

たかねあおやぎそう

*Veratrum longibracteatum* Takeda

本州北中部の高山草地に生ずる多年生草本である。茎は高さ20-60cm、基は前年の葉の繊維で包まれている。葉は互生し、長楕円形乃至披針形で先は長く尖り、基は細まって柄状となり、上部の葉は細長で小さい。7-8月、長さ7-20cmの総状花序をなして帯黄緑色の花を開き、下部は少数の枝を分つ。花軸・花梗には細毛があり、苞は線状披針形で長く、小苞も花梗と同長か又はそれより長い。花は径1cm内外、花被片は6枚、長楕円形でやや鈍頭である。雄蕊は6本、花蓋片よりずっと短い。3心皮。主軸の花は完全花が多いが枝先のは雄花になる。アオヤギソウよりも苞・小苞が細長い。

ゆり科



第 3714 図

ひめなべわり

*Croomia japonica* Miq.  
(= *C. kiusiana* Makino)

本州西部、九州の山地林下に産する多年生草本である。根茎は太く地下を横走り節間は短い。茎は高さ20-50cm、下部は3-5個の鞘状葉に包まれている。葉は左右に開いてつき、長卵形で先は尖り、基は円いか浅い心臟形をなし柄があり、長さ5-16cm巾2-8cm、縁は少し波をうち、5-9行脈がある。4-6月、葉腋から細長い柄を出し、1-4花が垂れ下って開く。小梗は長さ4-7mm、基に関節があり、花は淡緑色で径7-10mm。花被片は4枚、やや十字状をなし、卵形で内片は少し大きく平開し、内面に細かい乳頭状突起がある。雄蕊は4本で長さ2-3mm、葯は橙黄色。ナベワリに比べて葉は光沢があり、花は少し小さく、花被の外2片はほぼ同じ大きさである。

びっくろ科



第 3715 図

みやまぬかほしそら

*Luzula rostrata* Buchenau

北海道や本州北中部の高山に生ずる多年生草本で、地下に蔓を出す。根葉は長さ5-12cm巾3-6mmあり、縁に長い白毛がある。茎は高さ15-30cm、普通3枚の茎葉があり、夏、疎なやや繊状の花序をつける。茎葉は長さ3-5cm巾3-3mm、鞘部は長さ1-3cm、苞葉は花序よりずっと短い。花梗は細長く糸状、花下の小苞は短かく、卵形で先は尖る。花被片は6枚、広披針形で長さ約3mm、赤褐色で縁は白膜質である。雄蕊は6本で花被片の約1/3の長さがあり、葯は花糸より明かに短い。薔は3稜のある広卵形で、先は嘴状に突出し、花被片より長く淡緑色である。種子は広卵形黒褐色で長さ約1mm、上部一側に種子と同じ長さの彎曲した種枕がある。

い科



みくりぜぎしょう

*Juncus ensifolius* Wikström  
(= *J. oligocephalus* Satake et Ohwi)

本州北中部、北海道の深山湿原に稀に生じ北米に分布する多年生草本。根茎は細くて横にはい、やや疎に茎がでる。茎は高さ20-50cm、平たく狭い翼があり、葉を互生する。葉は剣状線形で平たく多管質、巾3-6mm、葉鞘も長く平たい。7-8月、茎先に2-5個の球形の頭状花序をつける。頭花は径8-10mm、多くの花を密集する。花には小梗があり、花被片は6枚、披針形で尖り、長さ約3mm、暗褐色で上部は黒ずみ、3脈がある。雄蕊は3本、花被片の1/2-2/3の長さがあり、葯は花糸の半長。薔果は楕円形で3稜があり、先は鈍頭で急に短凸端、花被片とほぼ同じ長さがあり、黒褐色で光沢がある。種子は倒卵状楕円形。

い科



第 3717 図

く さ い

*Juncus tenuis* Willd.

アメリカ原産の多年生草本で各地に普通に見られる。茎は簇生し、高さ15-50cm、細そく円く、下部に尋常葉をつける。葉は通常茎より短く、細そく径1mm内外、平らで縁は上方に巻き、鞘部は比較的短く、鞘口の耳状部は膜質で長く2-3mmある。6-10月、茎頂に葉状の苞をつけ、最下の苞は頗る長く、数本の長短の聚繖花序をつける。花は殆ど無柄で基に小苞があり、花被片は6枚、披針形で長さ3-4mm、背部は緑色をおび縁は白膜質である。雄蕊は6本、花被片の半長で、葯は花糸の半長。薔果は卵形で3稜があり、花被片よりやや短く、淡褐緑色で光沢がある。種子は倒卵形で長さ0.4mm、粘ばる。

い科



第 3718 図

えぞほそい

*Juncus brachyspathus* Maxim.  
var. *curvatus* Satake (= *J. filifolius* L. var. *curvatus* Kudo)

本州北中部、北海道の高山湿地に生ずる多年生草本である。地下茎は横にはい、茎は密にならんで立ち高さ20-90cm、細そく径1mm許、ほぼ円く浅い縦溝がある。葉は茎の下部を包み、鞘状で褐色をおび、先は短い芒状に尖る。最下の苞は茎につながり長さ5-20cm、夏、長さ不同の小梗を出し、3-6花が側方からでる様につく。花の基に小苞があり、花被片は6枚、披針形で長さ3-5mm、縁は白膜質である。雄蕊は6本、花被片の半長、葯は花糸の半長。薔果は長楕円形で3稜があり、花被片とほぼ同長、黄褐色で光沢がある。種子は楕円形赤褐色で長さ0.6-0.7mm。

い科

